

カリキュラムマップ

新

カリキュラム・ポリシー		I 初年次教育を重視し、アカデミックスキルズを身に付け看護専門職として学び続ける自己研鑽の態度を養う科目を配置する。	II 「基礎教養科目」は哲学的思考を基盤に豊かな人間性、教養を培い、高い倫理性を育て、品格を備えた看護専門職者を養成するために「人間の理解」「コミュニケーションの方法」「科学的探究」「社会と文化」「運動とリクリエーション」の5つに区分してバランスよく科目を配置する。	III 「専門基礎科目」は看護学の基盤となる人体の形態・機能を理解し、健康障害を起こす要因や障害・疾病に陥った時の人体の状況、社会環境と人々の健康とのかわりを学修する科目を「人体の構造と理解」「健康障害と回復」「健康支援と社会システム」の3つに区分し配置する。	IV 「専門科目」は看護専門職として必要な専門的知識・技術を修得するとともに、知識と技術を統合して看護学を発展的に考察する科目を「領域別科目」「統合科目」の2つに区分し配置する。	V 卒業要件を満たすことによって、看護師国家試験の受験資格が得られる教育内容とする。また、選択制で保健師国家試験受験資格が得られる科目を配置する。
1年	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>選 コミュニケーション入門</li> <li>必 国語表現法</li> <li>必 基礎ゼミナールⅠ</li> <li>必 情報リテラシー入門</li> <li>必 英語Ⅰ：基礎英語</li> <li>選 体験学習*</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必 哲学概論</li> <li>選 基礎心理学</li> <li>必 医学概論</li> <li>選 コミュニケーション入門</li> <li>必 国語表現法</li> <li>選 統計学</li> <li>必 基礎ゼミナールⅠ</li> <li>必 情報リテラシー入門</li> <li>選 運動とリクリエーションA</li> <li>必 英語Ⅰ：基礎英語</li> <li>必 確率の文化と歴史</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必 形態機能学Ⅰ</li> <li>必 形態機能学Ⅱ</li> <li>必 臨床栄養学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必 看護学原論</li> <li>必 基礎看護学援助論Ⅰ</li> <li>必 基礎看護学援助論Ⅱ</li> <li>必 基礎看護学実習Ⅰ</li> </ul>	
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>必 基礎ゼミナールⅡ</li> <li>必 キャリア発達論</li> <li>必 英語Ⅱ：オーラル英語</li> <li>必 情報リテラシー応用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選 多文化理解</li> <li>選 文化人類学</li> <li>必 法律と人権</li> <li>選 社会学</li> <li>選 健康と環境</li> <li>選 運動とリクリエーションB</li> <li>必 キャリア発達論</li> <li>必 英語Ⅱ：オーラル英語</li> <li>必 情報リテラシー応用</li> <li>選 生命科学</li> <li>選 日本国憲法</li> <li>選 日本の近代・現代史</li> <li>必 芸術と文化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必 保健統計学</li> <li>必 生化学</li> <li>必 病原微生物学と感染</li> <li>必 臨床心理学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必 看護理論・看護過程</li> <li>必 基礎看護学援助論Ⅲ</li> </ul>	
2年	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>必 英語Ⅲ：医療英語</li> <li>選 体験学習*</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必 生命倫理</li> <li>選 世界の医療</li> <li>必 英語Ⅲ：医療英語</li> <li>必 社会福祉学</li> <li>選 医療と経済</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必 疾病治療論Ⅱ</li> <li>必 疾病治療論Ⅰ</li> <li>必 病理学</li> <li>必 薬理学</li> <li>必 リハビリテーション概論</li> <li>必 公衆衛生学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必 基礎看護学実習Ⅱ</li> <li>必 成人看護学概論</li> <li>必 老年看護学概論</li> <li>必 母性看護学概論</li> <li>必 小児看護学概論</li> <li>必 精神看護学概論</li> <li>必 在宅看護学概論</li> </ul>	
	後期			<ul style="list-style-type: none"> <li>必 疾病治療論Ⅲ</li> <li>必 公衆衛生看護学概論</li> <li>必 保健福祉行政論</li> <li>必 疫学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必 看護倫理</li> <li>必 成人看護学援助論Ⅰ</li> <li>必 成人看護学援助論Ⅱ</li> <li>必 老年看護学援助論Ⅰ</li> <li>必 母性看護学援助論Ⅰ</li> <li>必 小児看護学援助論Ⅰ</li> <li>必 精神看護学援助論Ⅰ</li> <li>必 在宅看護学援助論Ⅰ</li> </ul>	
3年	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>選 体験学習*</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>必 老年看護学援助論Ⅱ</li> <li>必 母性看護学援助論Ⅱ</li> <li>必 小児看護学援助論Ⅱ</li> <li>必 精神看護学援助論Ⅱ</li> <li>必 在宅看護学援助論Ⅱ</li> <li>必 看護研究概論</li> <li>必 成人看護学実習Ⅰ**</li> <li>必 成人看護学実習Ⅱ**</li> <li>必 老年看護学実習Ⅰ**</li> <li>必 老年看護学実習Ⅱ**</li> <li>必 母性看護学実習**</li> <li>必 小児看護学実習**</li> <li>必 精神看護学実習**</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選 公衆衛生看護学方法論Ⅰ</li> </ul>
	後期				<ul style="list-style-type: none"> <li>必 成人看護学実習Ⅰ**</li> <li>必 成人看護学実習Ⅱ**</li> <li>必 老年看護学実習Ⅰ**</li> <li>必 老年看護学実習Ⅱ**</li> <li>必 母性看護学実習**</li> <li>必 小児看護学実習**</li> <li>必 精神看護学実習**</li> </ul>	
4年	前期				<ul style="list-style-type: none"> <li>選 クリティカルケア看護</li> <li>選 リハビリテーション看護</li> <li>選 感染症と看護</li> <li>必 島嶼看護</li> <li>必 在宅看護学実習Ⅰ</li> <li>必 在宅看護学実習Ⅱ</li> <li>必 災害看護</li> <li>必 統合実習</li> <li>必 フィジカルアセスメントの実践</li> <li>選 看護教育学</li> <li>選 先端医療と看護</li> <li>必 看護研究方法論**</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選 公衆衛生看護学方法論Ⅲ</li> <li>選 公衆衛生看護学実習Ⅱ</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>選 体験学習*</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>必 看護研究方法論**</li> <li>必 チームケア論</li> <li>選 救急看護</li> <li>選 医療安全</li> <li>選 看護管理</li> <li>選 国際保健</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選 公衆衛生看護学方法論Ⅱ</li> <li>選 公衆衛生看護学実習Ⅰ</li> </ul>
	後期				<ul style="list-style-type: none"> <li>選 公衆衛生看護学実習Ⅰ</li> </ul>	

注1) 体験学習\*：1・2・3・4年の前期に選択可能 注2) 各専門科目の実習\*\*：3年通期で開講 注3) 看護研究方法論\*\*：4年通期で開講

様式第2号(その2)

(用紙 日本工業規格A4型もしくはA3型)

教育課程と指定規則との対比表

学校名 湘南鎌倉医療大学 看護学部 看護学科

指定規則の教育内容					別表3 (看護師課程)											計														
					基礎分野		専門基礎分野		専門分野				統合分野		臨地実習			統合分野												
区分	授業科目	単位数		履修方法及び卒業要件	科学的思考の基盤	人間の生活・社会の理解	人体の構造と機能	疾病の成り立ちと回復の促進	健康支援と社会保険制度	I 基礎看護学	成人看護学	老年看護学	小児看護学	母性看護学	精神看護学	在宅看護論	看護の統合と実践		I 基礎看護学	成人看護学	老年看護学	小児看護学	母性看護学	精神看護学	在宅看護論	看護の統合と実践	97			
		必修	選択		3単位 当たりの 時間数	13	21	40				23		23			23													
基礎 教養 科目	哲学概論	1	15																							24				
	生命倫理	2	15																											
	多文化理解		2	15																										
	文化人類学		1	15																										
	基礎心理学		1	15																										
	医学概論		1	15																										
	キャリア発達論		1	15																										
	コミュニケーション入門		1	30																										
	国語表現法		1	30																										
	英語Ⅰ：基礎英語		1	15																										
	英語Ⅱ：オーラル英語		1	30																										
	英語Ⅲ：医療英語		1	15																										
	基礎ゼミナールⅠ		1	15																										
	基礎ゼミナールⅡ		1	30																										
	情報リテラシー入門		1	30																										
	情報リテラシー応用		1	30																										
	生命科学		1	15																										
	統計学		1	30																										
	鎌倉の文化と歴史		1	15																										
	法律と人権		1	15																										
	日本国憲法		2	15																										
	社会福祉学		1	15																										
	社会学		1	15																										
	日本の近代・現代史		1	15																										
芸術と文化		1	30																											
医療と経済		1	15																											
世界の医療		1	15																											
健康と環境		1	15																											
体験学習		1	30																											
運動とリクリエーションA		1	30																											
運動とリクリエーションB		1	30																											
小計			24		24	0			0																					
専門 基礎 科目	形態機能学Ⅰ	2	15																									31		
	形態機能学Ⅱ	2	15																											
	生化学	1	15																											
	病原微生物学と感染	2	15																											
	疾病治療論Ⅰ	2	15																											
	疾病治療論Ⅱ	2	15																											
	疾病治療論Ⅲ	2	15																											
	病理学	1	15																											
	薬理学	2	15																											
	臨床栄養学	2	15																											
	臨床心理学	1	15																											
	チームケア論	2	15																											
	リハビリテーション概論	1	15																											
	公衆衛生学	1	15																											
公衆衛生看護学概論	2	15																												
保健福祉行政論	2	15																												
保健統計学	2	15																												
疫学	2	15																												
小計			31		0	31			0																					

指定規則の教育内容				別表3 (看護師課程)													計		
				基礎分野	専門基礎分野	専門分野					統合分野	臨地実習						統合分野	
						I 基礎看護学	II 成人看護学	III 老年看護学	IV 小児看護学	V 母性看護学		VI 精神看護学	専門分野						
													I 基礎看護学	II 成人看護学	III 老年看護学	IV 小児看護学			V 母性看護学
科学的思考の基盤	人間と生活・社会の理解	人体の構造と機能	疾病の成り立ちと回復の促進	健康支援と社会保険制度	基礎看護学	成人看護学	老年看護学	小児看護学	母性看護学	精神看護学	在宅看護学	看護の統合と実践							
区分	授業科目	単位数	科目ごとの時間数	履修方法及び卒業要件	13	21	40					23					97		
		必修	選択																
領域別科目	看護学原論	2	15																
	基礎看護学援助論 I	2	30																
	基礎看護学援助論 II	2	30																
	基礎看護学援助論 III	2	30																
	基礎看護学実習 I	1	45																
	基礎看護学実習 II	2	45																
	看護理論・看護過程	1	30																
	看護倫理	2	15																
	成人看護学概論	2	15																
	成人看護学援助論 I	2	30																
	成人看護学援助論 II	2	30																
	成人看護学実習 I	3	45																
	成人看護学実習 II	3	45																
	老年看護学概論	1	15																
	老年看護学援助論 I	2	30																
	老年看護学援助論 II	1	30																
	老年看護学実習 I	2	45																
	老年看護学実習 II	2	45																
	母性看護学概論	1	15																
	母性看護学援助論 I	2	30																
	母性看護学援助論 II	1	30																
	母性看護学実習	2	45																
	小児看護学概論	1	15																
	小児看護学援助論 I	2	30																
	小児看護学援助論 II	1	30																
	小児看護学実習	2	45																
	精神看護学概論	1	15																
精神看護学援助論 I	2	30																	
精神看護学援助論 II	1	30																	
精神看護学実習	2	45																	
小計				52		0	0	33					19						
統合科目	在宅看護学概論	1	15																
	在宅看護学援助論 I	2	30																
	在宅看護学援助論 II	2	30																
	在宅看護学実習 I	1	45																
	在宅看護学実習 II	1	45																
	看護研究概論	1	15																
	看護研究方法論	2	30																
	看護管理	1	15																
	災害看護	1	15																
	救急看護	1	15																
	国際保健	1	15																
	統合実習	2	45																
	フィジカルアセスメントの実践	1	30																
	医療安全	1	15																
	看護教育学	1	15																
	先端医療と看護	1	15																
	クリティカルケア看護	1	15																
リハビリテーション看護	1	15																	
感染症と看護	1	15																	
島嶼看護	2	15																	
小計				21		0	0	17					4						
保健師課程	公衆衛生看護学方法論 I		2	30															
	公衆衛生看護学方法論 II		2	30															
	公衆衛生看護学方法論 III		1	30															
	公衆衛生看護学実習 I		3	45															
	公衆衛生看護学実習 II		2	45															
卒業要件 (最低) 単位数				128		24	31	50					23					128	
指定規則に対する増単位数						11	10	10					0					31	

(注)

1 本様式は、看護師・保健師・助産師学校としての指定を併せて受ける場合の例であり、指定を受ける学校種別に応じ、本様式の横軸に、当該指定規則に定める教育内容及び単位数（歯科技工士学校の場合は学科目と総時間数）を適切に記入すること。（診療放射線技師学校、理学療法士学校、作業療法士学校、言語聴覚士学校、臨床工学技士学校、義肢装具士学校、あん摩マッサージ指圧師及びはり師きゅう師に係る学校、柔道整復師学校の場合は、本様式の「臨地実習」の字句をそれぞれ「臨地実習」と読み替えるものとする。歯科技工師学校の場合は、本様式の「単位数」の字句をそれぞれ「時間数」と読み替えるものとする。）

2 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。また、開設する授業科目に応じ、適宜科目区分の枠を設けること。

3 指定規則との対比関係の表記については、記入例を参考にすること。（歯科技工士学校については、指定規則に定める総時間数との対比関係がわかるよう時間数を記入すること。）

4 講義等と臨地実習を組み合わせた授業科目がある場合は、平成20年4月1日より施行される大学設置基準第21条第2項第3号の規定に則り、臨地実習とそれ以外の教育に相当する単位数とを区別して算出し、本様式の相当欄にその数字を記入すること。

5 本様式により指定規則との対比関係を表記できない授業科目がある場合等は、適宜記入方法を変えて差し支えないこと。ただし、その実態が分かるよう記入すること。

様式第2号(その2)

(用紙 日本工業規格A4型もしくはA3型)

教育課程と指定規則との対比表

学校名 湘南鎌倉医療大学 看護学部 看護学科

指定規則の教育内容				別表1 (保健師課程)										
区分	授業科目	単位数		履修方法及び卒業要件	公衆衛生看護学概論	公衆衛生看護学 個人・家族・集団・組織の生活支援	公衆衛生看護学 活動展開論	疫学	保健統計学	保健医療福祉行政論	公衆衛生看護学実習 個人・家族・集団・組織の支援実習	公衆衛生看護学管理論実習	計	
		必修	選択											23 (20)
基礎 教養科目	哲学概論	1	15	必修19単位を含む24単位以上を履修										
	生命倫理	2	15											
	多文化理解		2		15									
	文化人類学		1		15									
	基礎心理学		1		15									
	医学概論	1	15											
	キャリア発達論	1	15											
	コミュニケーション入門		1		30									
	国語表現法	1	30											
	英語Ⅰ：基礎英語	1	15											
	英語Ⅱ：オーラル英語	1	30											
	英語Ⅲ：医療英語	1	15											
	基礎ゼミナールⅠ	1	15											
	基礎ゼミナールⅡ	1	30											
	情報リテラシー入門	1	30											
	情報リテラシー応用	1	30											
	生命科学		1		15									
	統計学		1		30									
	鎌倉の文化と歴史	1	15											
	法律と人権	1	15											
	日本国憲法		2		15									
	社会福祉学	1	15											
	社会学		1		15									
	日本の近代・現代史		1		15									
芸術と文化	1	30												
医療と経済	1	15												
世界の医療		1	15											
健康と環境	1	15												
体験学習		1	30											
運動とリクリエーションA		1	30											
運動とリクリエーションB		1	30											
小計			24		2	0	0	0	0	0	0	0	2	
専門 基礎科目	形態機能学Ⅰ	2	15	必修31単位を履修										
	形態機能学Ⅱ	2	15											
	生化学	1	15											
	病原微生物学と感染	2	15											
	疾病治療論Ⅰ	2	15											
	疾病治療論Ⅱ	2	15											
	疾病治療論Ⅲ	2	15											
	病理学	1	15											
	薬理学	2	15											
	臨床栄養学	2	15											
	臨床心理学	1	15											
	チームケア論	2	15											
	リハビリテーション概論	1	15											
公衆衛生学	1	15												
公衆衛生看護学概論	2	15												
保健福祉行政論	2	15												
保健統計学	2	15												
疫学	2	15												
小計			31		3	2	2	2	2	0	0	0	11	

指定規則の教育内容				別表1 (保健師課程)								計			
				公衆衛生看護学		疫学	保健統計学	保健医療福祉行政論	公衆衛生看護学実習		公衆衛生看護学管理論実習				
区分	授業科目	単位数		履修方法及び卒業要件	公衆衛生看護学概論	公衆衛生看護学活動展開論	公衆衛生看護学管理論	疫学	保健統計学	保健医療福祉行政論	公衆衛生看護学実習(個人・家庭・集団・組織の生活支援)	公衆衛生看護学活動展開実習(個人・家庭・集団・組織の生活支援)	公衆衛生看護学管理論実習		
		必修	選択											23 (20)	5
領域別科目	看護学原論	2	15	必修52単位を履修											
	基礎看護学援助論 I	2	30												
	基礎看護学援助論 II	2	30												
	基礎看護学援助論 III	2	30												
	基礎看護学実習 I	1	45												
	基礎看護学実習 II	2	45												
	看護理論・看護過程	1	30												
	看護倫理	2	15												
	成人看護学概論	2	15												
	成人看護学援助論 I	2	30												
	成人看護学援助論 II	2	30												
	成人看護学実習 I	3	45												
	成人看護学実習 II	3	45												
	老年看護学概論	1	15												
	老年看護学援助論 I	2	30												
	老年看護学援助論 II	1	30												
	老年看護学実習 I	2	45												
	老年看護学実習 II	2	45												
	母性看護学概論	1	15												
	母性看護学援助論 I	2	30												
	母性看護学援助論 II	1	30												
	母性看護学実習	2	45												
	小児看護学概論	1	15												
	小児看護学援助論 I	2	30												
	小児看護学援助論 II	1	30												
	小児看護学実習	2	45												
	精神看護学概論	1	15												
	精神看護学援助論 I	2	30												
精神看護学援助論 II	1	30													
精神看護学実習	2	45													
小計			52		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
統合科目	在宅看護学概論	1	15	必修17単位を含む21単位以上を履修		○	○	○							
	在宅看護学援助論 I	2	30			○	○	○							
	在宅看護学援助論 II	2	30				○	○							
	在宅看護学実習 I	1	45									○			
	在宅看護学実習 II	1	45									○			
	看護研究概論	1	15												
	看護研究方法論	2	30												
	看護管理	1	15												
	災害看護	1	15												
	救急看護	1	15												
	国際保健	1	15				○								
	統合実習	2	45												
	フィジカルアセスメントの実践	1	30												
	医療安全	1	15												
	看護教育学	1	15												
	先端医療と看護	1	15												
	クリティカルケア看護	1	15												
リハビリテーション看護	1	15													
感染症と看護	1	15													
島嶼看護	2	15			○										
小計			21		0	8	0	0	0	0	2	0	0	10	
保健師課程	公衆衛生看護学方法論 I	2	30	必修10単位履修		○									
	公衆衛生看護学方法論 II	2	30				○								
	公衆衛生看護学方法論 III	1	30					○							
	公衆衛生看護学実習 I	3	45									○	○		
	公衆衛生看護学実習 II	2	45										○		
小計			10		0	5	0	0	0	0	0	5	10		
卒業要件(最低)単位数				128	18				2				20		
保健師国家試験受験資格を取得する場合に最低必要単位数				138	26				7				33		
指定規則に対する増単位数					6				2				8		

(注)

- 1 本様式は、看護師・保健師・助産師学校としての指定を併せて受ける場合の例であり、指定を受ける学校種別に応じ、本様式の横軸に、当該指定規則に定める教育内容及び単位数(歯科技工士学校の場合は学科目と総時間数)を適切に記入すること。(診療放射線技師学校、理学療法士学校、作業療法士学校、言語聴覚士学校、臨床工学技士学校、義肢装具士学校、あん摩マッサージ指圧師及びはり師きゅう師に係る学校、柔道整復師学校の場合は、本様式の「臨床実習」の字句をそれぞれ「臨床実習」と読み替えるものとする。歯科技工師学校の場合は、本様式の「単位数」の字句をそれぞれ「時間数」と読み替えるものとする。)
- 2 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。また、開設する授業科目に応じ、適宜科目区分の枠を設けること。
- 3 指定規則との対比関係の表記については、記入例を参考にすること。(歯科技工士学校については、指定規則に定める総時間数との対比関係がわかるよう時間数を記入すること。)
- 4 講義等と臨床実習を組み合わせた授業科目がある場合は、平成20年4月1日より施行される大学設置基準第21条第2項第3号の規定に則り、臨床実習とそれ以外の教育に相当する単位数とを区別して算出し、本様式の相当欄にその数字を記入すること。
- 5 本様式により指定規則との対比関係を表記できない授業科目がある場合等は、適宜記入方法を変えて差し支えないこと。ただし、その実態が分かるよう記入すること。

## 湘南鎌倉医療大学設置時における採用教員の 定年の特例に関する規程 (案)

### (趣旨)

第1条 湘南鎌倉医療大学看護学部設置のため専任の教員として採用する教育職員（大学開学時までに採用を決定し、完成時までに採用する者を含む。）の定年は、学校法人徳洲会職員就業規則第17条第1項第1号の規定にかかわらず、この規程に定めるところによる。

### (定年)

第2条 教育職員のうち次の表の左欄に掲げる年齢の者の定年は、次の表の左欄に掲げる年齢に応じ、右欄に掲げるとおりとする。

開設時満年齢	定 年
67歳以上	平成36年3月31日
66歳	平成37年3月31日
65歳～64歳	平成38年3月31日
63歳～61歳	平成39年3月31日
60歳～58歳	平成40年3月31日

### 附則

この規程は、平成32年4月1日から施行する。